

山内良一先生退職記念号によせて

学 長 幸 田 亮 一

山内良一先生は、1970年に佐賀大学文理学部をご卒業後、九州大学大学院経済学研究科に進学され、1976年に同研究科博士課程を単位取得満期退学されて、引き続き九州大学において経済学部助手、産業労働研究所助手をお務めになった後、1978年に熊本商科大学経済学部講師として着任されました。その後、助教授をへて1989年には教授に昇格され、2000年には博士（農学）の学位を九州大学より授与されています。

先生のご専門は農業政策論で、とくに農村の地域開発に関して優れた研究成果を積み上げられてきました。研究成果は高著『農業保護の理論と政策』（ミネルヴァ書房、1997年）に結実しました。リカードウ・マルサス論争からEUの農業保護、さらに現代日本の中山間地を扱った本書は1998年に九州農業経済学会賞「学術賞」を授賞しています。この他にも、ご業績一覧のなかの多数の学術論文や学会報告に見られるとおり、長年にわたって着実な研究成果を積み上げられてきています。

先生は日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、経済理論学会、日本地域経済学会、食農資源経済学会、九州EU研究会など学会活動にも積極的に参加され、それらのなかで理事や幹事として責任ある仕事も担われてきました。さらに先生は地域振興にも深い関心を寄せられ、熊本県農政懇話会委員や熊本県総合計画企画部委員会委員、熊本市建築審査会委員、（公）熊本県農業公社評議員などを歴任されました。

そのようにご多忙なか2002年から4年間、経済学部長の重責をしっかりと果たされ、その後、学校法人熊本学園の評議員と理事を長年にわたってお務めになり、学園の発展に一方ならぬご貢献をなさいました。

先生との個人的な思い出はたくさんあります。まず、先生とは熊本高校の先輩・後輩ということで親しく接して下さいました。先生からのお誘いで、北古賀勝幸理事長と酒席をご一緒させて頂いたのも楽しい思い出です。さらに、2013年に私も熊本学園理事会の末席を汚すようになってから、学校経営についてあれこれ適切なお助言とお指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

1978年より長年にわたって熊本学園大学の発展にご貢献頂いた山内先生は2018年3月をもっ

でご退職となりました。引き続きシニア客員教授として教育研究だけでなく、地域振興にもご尽力いただいていることはたいへんありがたいことです。

これから先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学に発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

山内先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。